

「動物愛護・管理」についてのアンケート結果

県では、平成27年1月に「滋賀県動物愛護管理推進計画」を改定し、「動物との暮らし三方よし」をスローガンに掲げ施策を推進しています。

県民のみなさんの動物愛護管理に関する意識やご意見をお聞きし、今後の施策の参考とするためアンケート調査を実施しました。

★ 実施時期：平成30年10月

★ 対象者：県政モニター 396人

★ 回答数：336人（回答率 84.8%）

★ 担当課：健康医療福祉部 生活衛生課

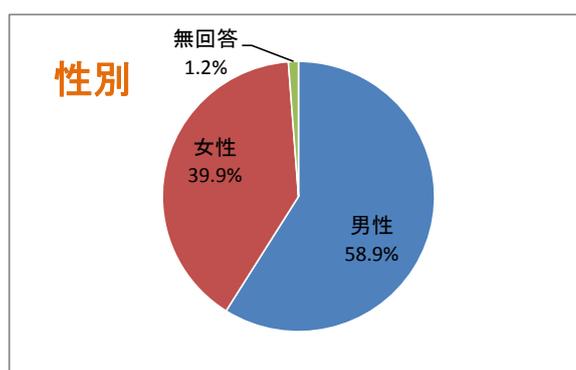
（※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。）

★ 回答対象者が少ない問もありますので、各問後に記載の母数（n）をご確認下さい。

【属性】

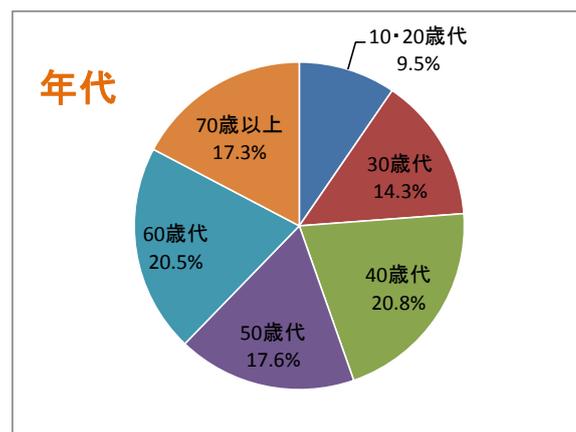
◆性別

項目	人数（人）	割合（%）
男性	198	58.9%
女性	134	39.9%
無回答	4	1.2%
合計	336	100.0%



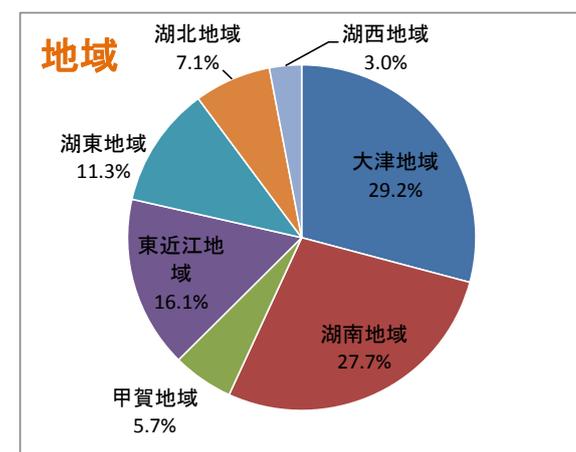
◆年代

項目	人数（人）	割合（%）
10・20歳代	32	9.5%
30歳代	48	14.3%
40歳代	70	20.8%
50歳代	59	17.6%
60歳代	69	20.5%
70歳以上	58	17.3%
合計	336	100.0%



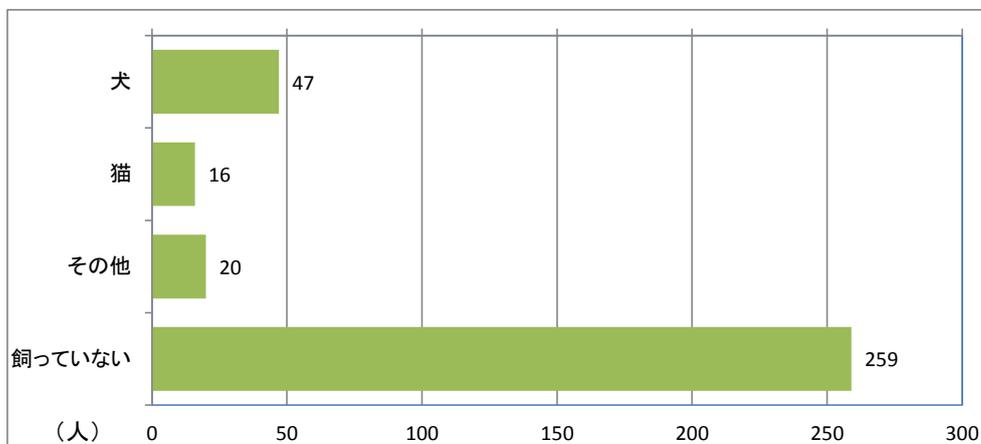
◆地域

項目	人数（人）	割合（%）
大津地域	98	29.2%
湖南地域	93	27.7%
甲賀地域	19	5.7%
東近江地域	54	16.1%
湖東地域	38	11.3%
湖北地域	24	7.1%
湖西地域	10	3.0%
合計	336	100.0%



問1 動物を飼っていますか？（回答チェックはいくつでも。n=336）

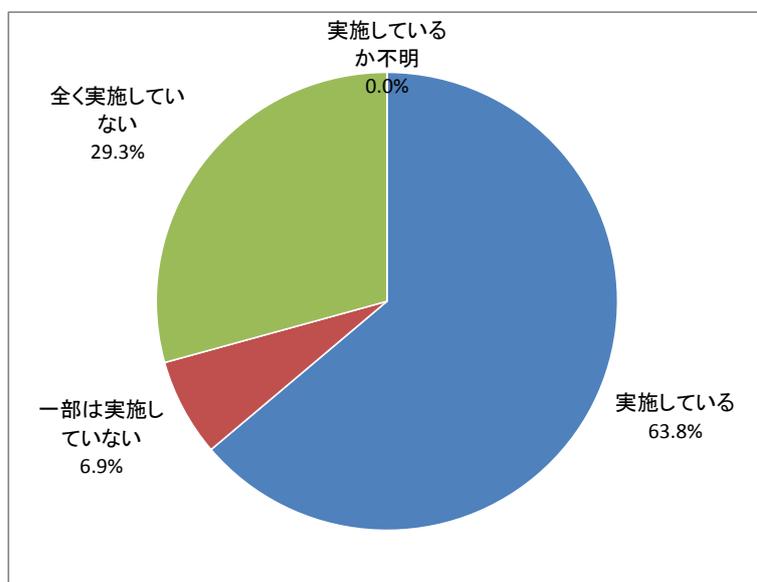
項目	人数（人）	割合（%）
犬	47	14.0%
猫	16	4.8%
その他	20	6.0%
飼っていない	259	77.1%



【問1で「1. 犬」または「2. 猫」を飼っていると回答いただいた方にお聞きします。】

問2 不妊去勢手術を実施していますか？（回答チェックは1つだけ。n=58）

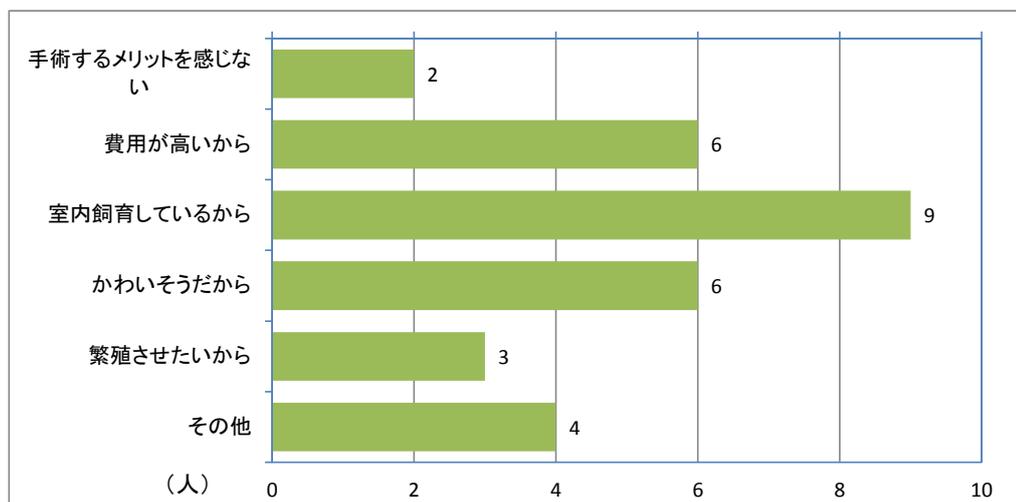
項目	人数（人）	割合（%）
実施している	37	63.8%
一部は実施していない	4	6.9%
全く実施していない	17	29.3%
実施しているか不明	0	0.0%
合計	58	100.0%



【問2で「2. 一部は実施していない」「3. 全く実施していない」を選択された方にお尋ねします。】

問3 手術をしていない理由は何ですか。（回答チェックはいくつでも。n=21）

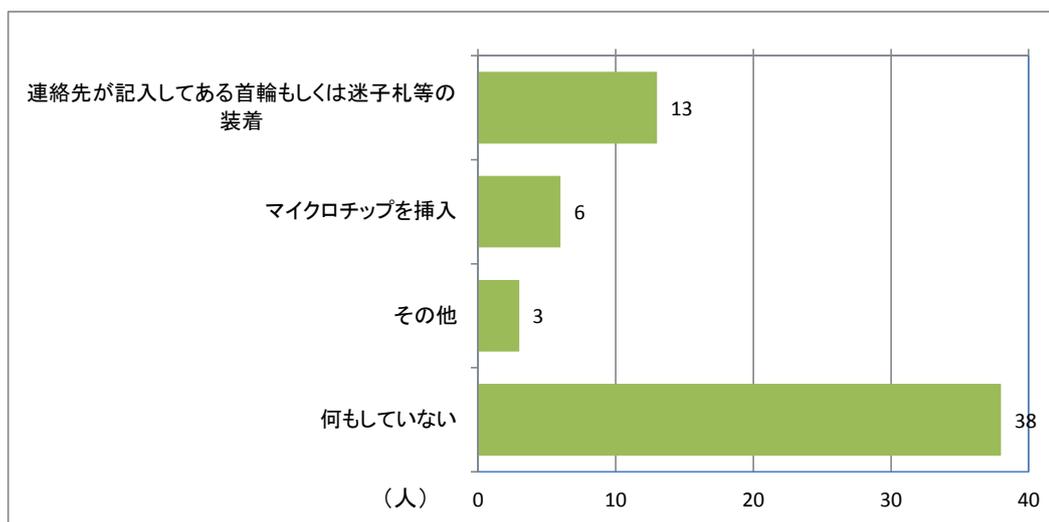
項目	人数（人）	割合（%）
手術するメリットを感じない	2	9.5%
費用が高いから	6	28.6%
室内飼育しているから	9	42.9%
かわいそうだから	6	28.6%
繁殖させたいから	3	14.3%
その他	4	19.0%



【（問4～問7まで）問1で「1. 犬」または「2. 猫」を飼っていると回答いただいた方にお聞きます。】

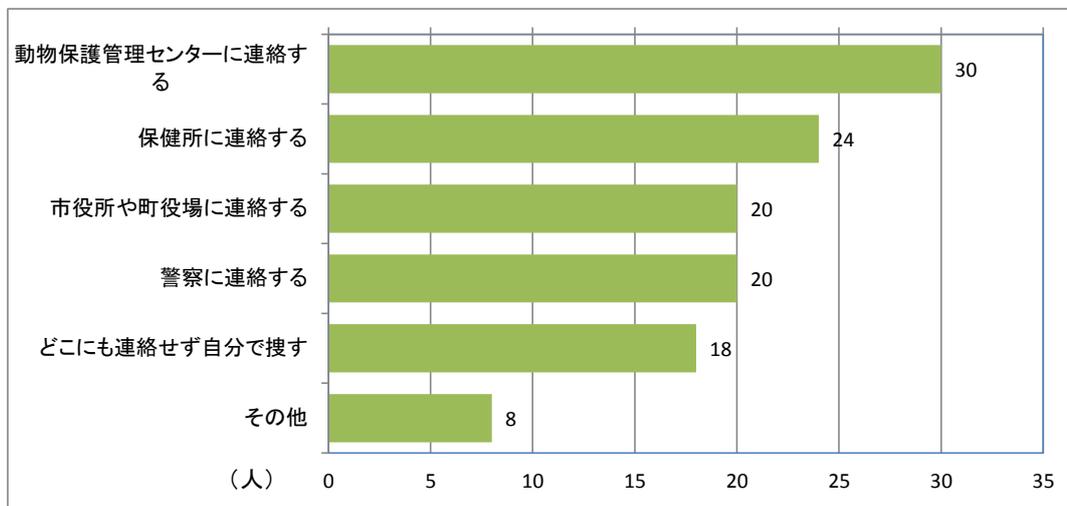
問4 飼い主の明示をしていますか？（回答チェックはいくつでも。n=58）

項目	人数（人）	割合（%）
連絡先が記入してある首輪もしくは迷子札等の装着	13	22.4%
マイクロチップを挿入	6	10.3%
その他	3	5.2%
何もしていない	38	65.5%



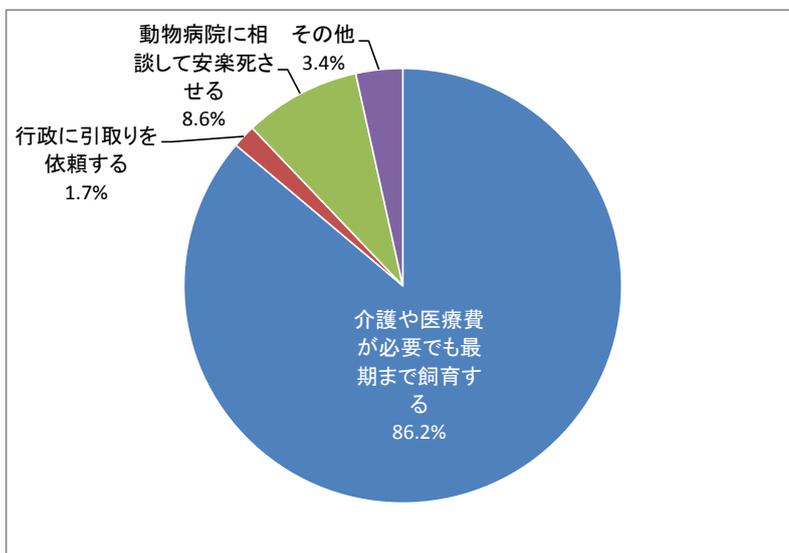
問5 犬または猫が逃げ出してしまうと迷子になった時、どうしますか？（回答チェックはいくつでも。n=58）

項目	人数（人）	割合（%）
動物保護管理センターに連絡する	30	51.7%
保健所に連絡する	24	41.4%
市役所や町役場に連絡する	20	34.5%
警察に連絡する	20	34.5%
どこにも連絡せず自分で捜す	18	31.0%
その他	8	13.8%



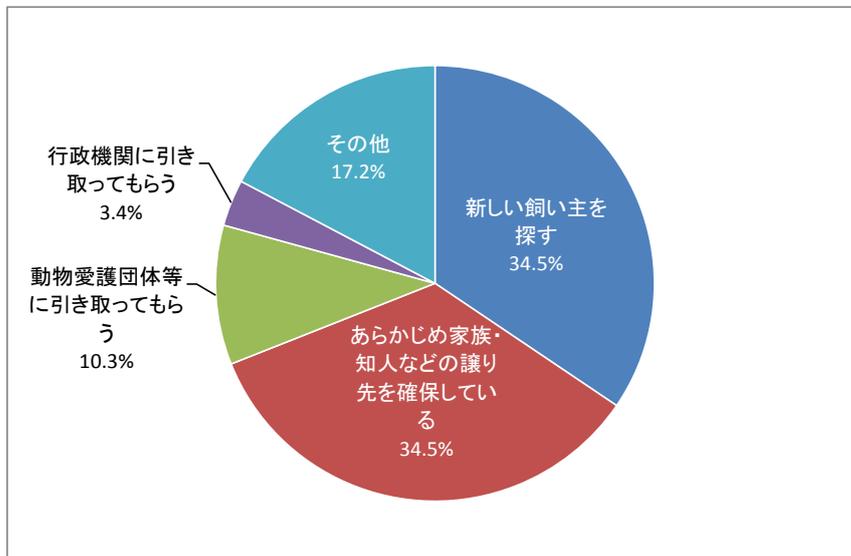
問6 あなたの飼っている犬または猫が高齢で介護が必要になったり、多額の医療費がかかる病気などで世話が大変になった時、あなたはどのようにしますか？（回答チェックは1つだけ。n=58）

項目	人数（人）	割合（%）
介護や医療費が必要でも最期まで飼育する	50	86.2%
行政に引取りを依頼する	1	1.7%
動物病院に相談して安楽死させる	5	8.6%
その他	2	3.4%
合計	58	100.0%



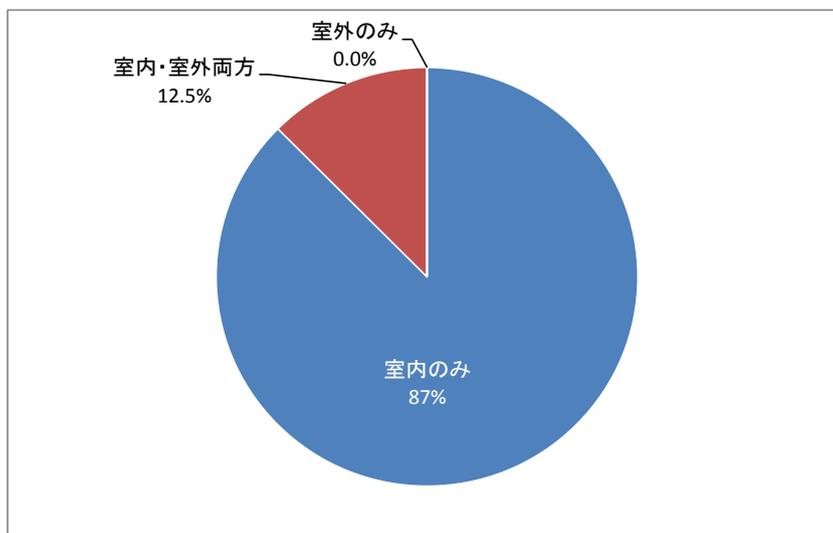
問7 急な引っ越し、入院やアレルギーの発症などでどうしても飼えなくなった場合、
 どうしますか？（回答チェックは1つだけ。n=58）

項目	人数（人）	割合（%）
新しい飼い主を探す	20	34.5%
あらかじめ家族・知人などの譲り先を確保している	20	34.5%
動物愛護団体等に引き取ってもらう	6	10.3%
行政機関に引き取ってもらう	2	3.4%
その他	10	17.2%
合計	58	100.0%



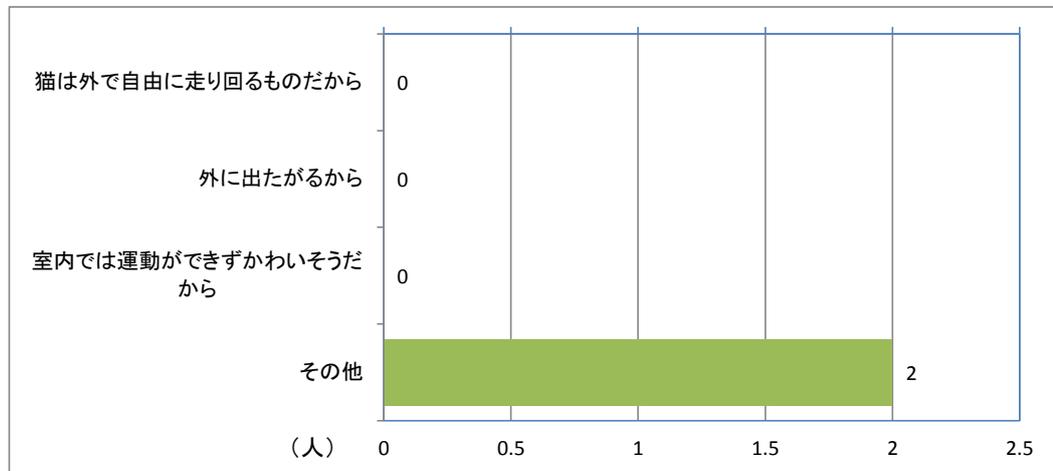
問8 猫を飼っている方にお聞きします。飼育場所はどこですか。（回答チェックは1つだけ。n=16）

項目	人数（人）	割合（%）
室内のみ	14	87.5%
室内・室外両方	2	12.5%
室外のみ	0	0.0%
合計	16	100.0%



問9 問8で「2. 室内・室外両方」「3. 室外のみ」を選択した方にお聞きします。猫を室外で飼っている理由は何ですか。（回答チェックはいくつでも。n=2）

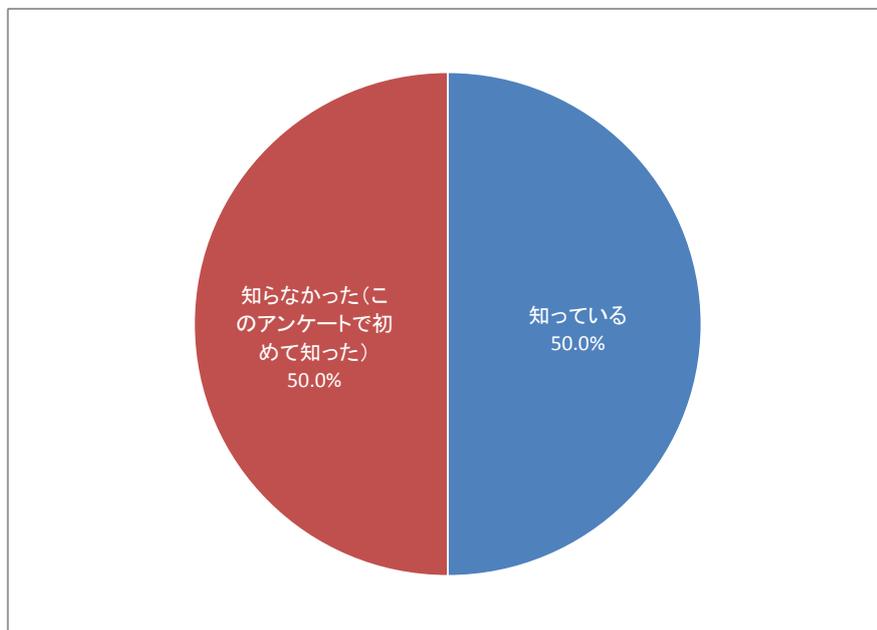
項目	人数（人）	割合（%）
猫は外で自由に走り回るものだから	0	0.0%
外に出たがるから	0	0.0%
室内では運動ができずかわいそうだから	0	0.0%
その他	2	100.0%



問10 猫は近所迷惑・交通事故・感染症の防止のため室内飼養が基本※であることを知っていますか？（回答チェックは1つだけ。n=16）

項目	人数（人）	割合（%）
知っている	8	50.0%
知らなかった（このアンケートで初めて知った）	8	50.0%
合計	16	100.0%

※猫の室内飼養・・・「家庭動物等の飼養及び保管に関する基準」（環境省告示）にて、猫は室内飼養に努めるよう規定されています。

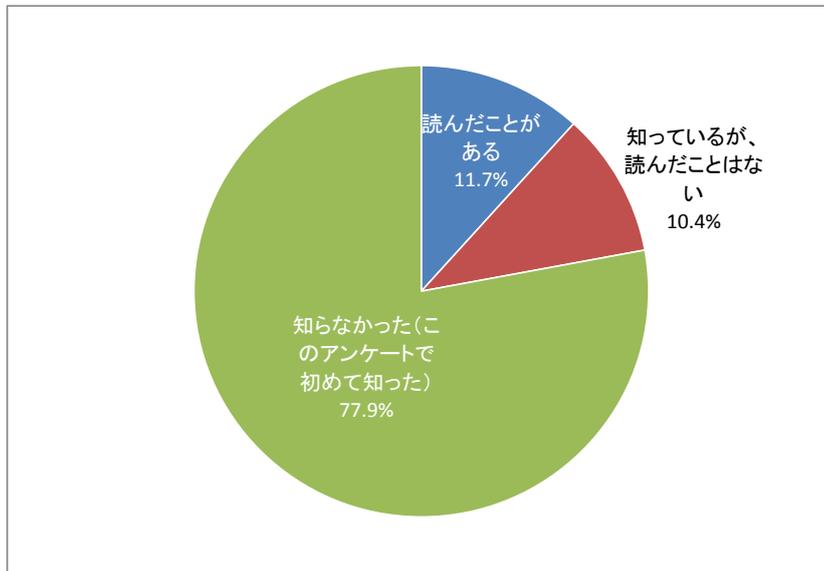


問11 動物を飼っている方にお聞きします。平成28年度に県が作成した「滋賀県災害時ペット同行避難ガイドライン」※を知っていますか？（回答チェックは1つだけ。n=77）

項目	人数（人）	割合（％）
読んだことがある	9	11.7%
知っているが、読んだことはない	8	10.4%
知らなかった（このアンケートで初めて知った）	60	77.9%
合計	77	100.0%

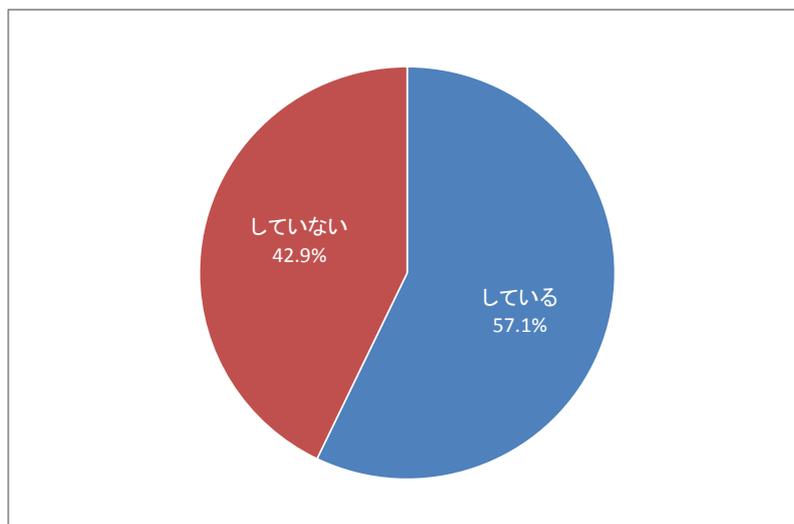
※「滋賀県災害時ペット同行避難ガイドライン」掲載HP

<http://www.pref.shiga.lg.jp/e/seikatsu/eg00a006.html#doukou-GL>



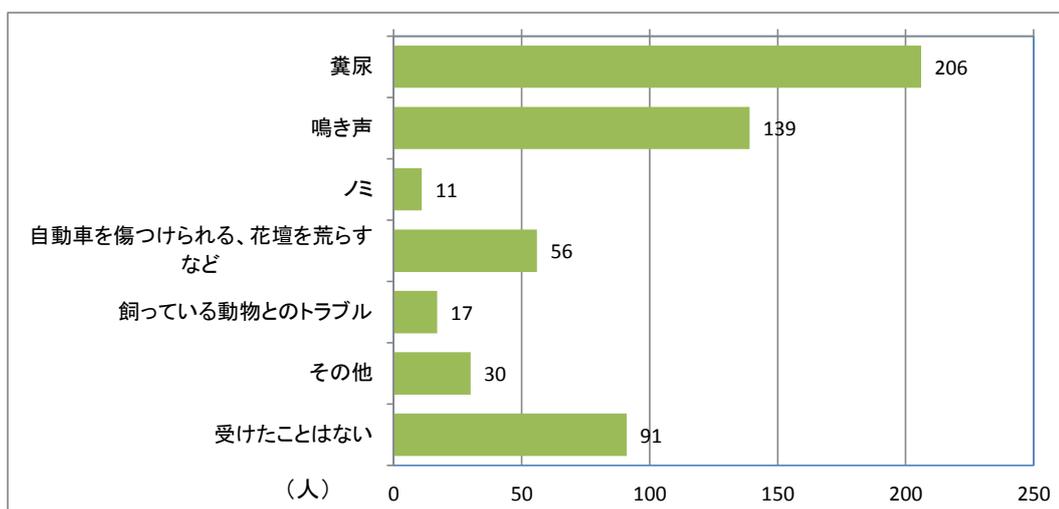
問12 動物を飼っている方にお聞きします。えさ、トイレ用品の備蓄など、災害時のペットに対する備えをしていますか？（回答チェックは1つだけ。n=77）

項目	人数（人）	割合（％）
している	44	57.1%
していない	33	42.9%
合計	77	100.0%



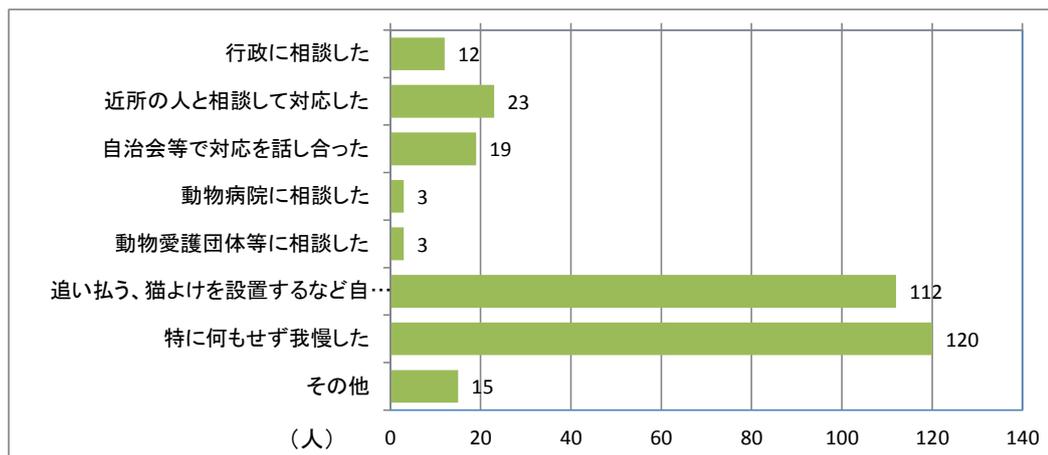
問13 すべての方にお聞きします。いわゆる野良猫による被害、迷惑を受けたことがありますか？
 (回答チェックはいくつでも。n=336)

項目	人数(人)	割合(%)
糞尿	206	61.3%
鳴き声	139	41.4%
ノミ	11	3.3%
自動車を傷つけられる、花壇を荒らすなど	56	16.7%
飼っている動物とのトラブル	17	5.1%
その他	30	8.9%
受けたことはない	91	27.1%



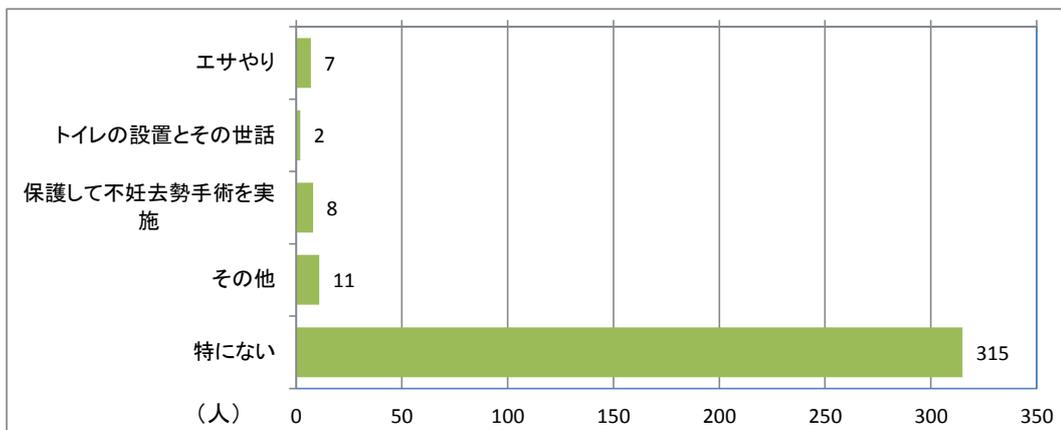
問14 問13で「1. 糞尿～6. その他」を選択した方にお聞きします。被害に対してどう対応しましたか？
 (回答チェックはいくつでも。n=245)

項目	人数(人)	割合(%)
行政に相談した	12	4.9%
近所の人と相談して対応した	23	9.4%
自治会等で対応を話し合った	19	7.8%
動物病院に相談した	3	1.2%
動物愛護団体等に相談した	3	1.2%
追い払う、猫よけを設置するなど自衛した	112	45.7%
特に何もせず我慢した	120	49.0%
その他	15	6.1%



問15 いわゆる野良猫に対して以下の中であなたがやっていることはありますか？
 (回答チェックはいくつでも。n=336)

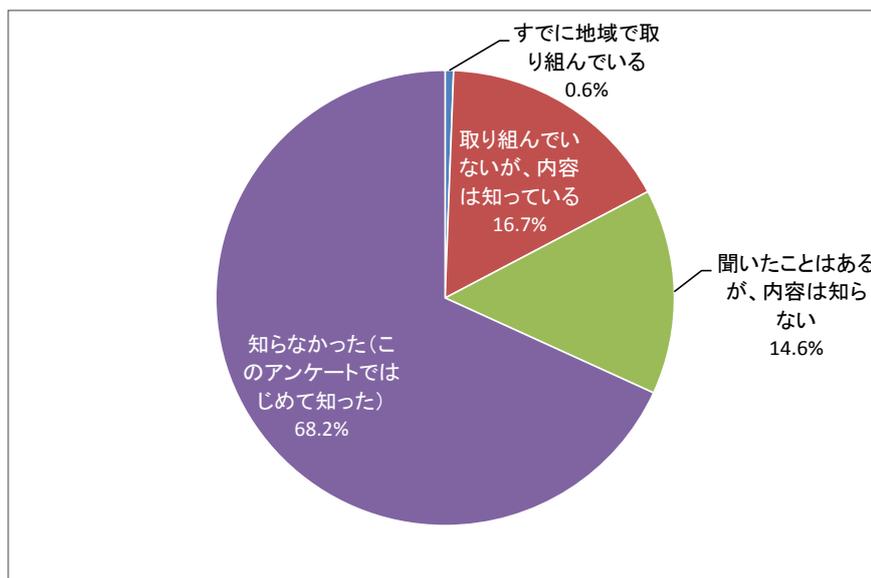
項目	人数(人)	割合(%)
エサやり	7	2.1%
トイレの設置とその世話	2	0.6%
保護して不妊去勢手術を実施	8	2.4%
その他	11	3.3%
特にない	315	93.8%



問16 「地域猫活動」※を知っていますか？(回答チェックは1つだけ。n=336)

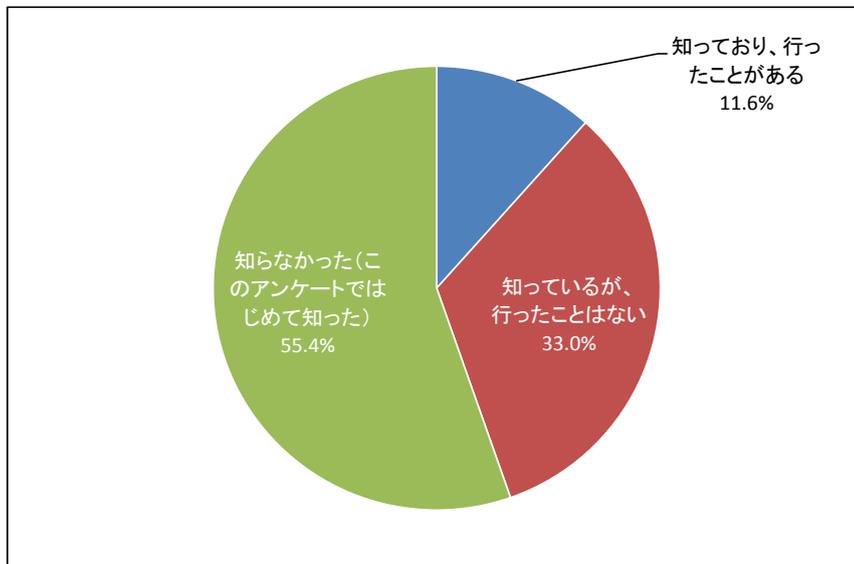
項目	人数(人)	割合(%)
すでに地域で取り組んでいる	2	0.6%
取り組んでいないが、内容は知っている	56	16.7%
聞いたことはあるが、内容は知らない	49	14.6%
知らなかった(このアンケートではじめて知った)	229	68.2%
合計	336	100.0%

※地域猫活動・・・地域が主体となって野良猫の不妊去勢手術、適正管理を実施することで猫の数を減らし、生活環境問題の改善を目指す活動。



問17 動物保護管理センター（湖南省）を知っていますか？（回答チェックは1つだけ。n=336）

項目	人数（人）	割合（%）
知っており、行ったことがある	39	11.6%
知っているが、行ったことはない	111	33.0%
知らなかった（このアンケートではじめて知った）	186	55.4%
合計	336	100.0%

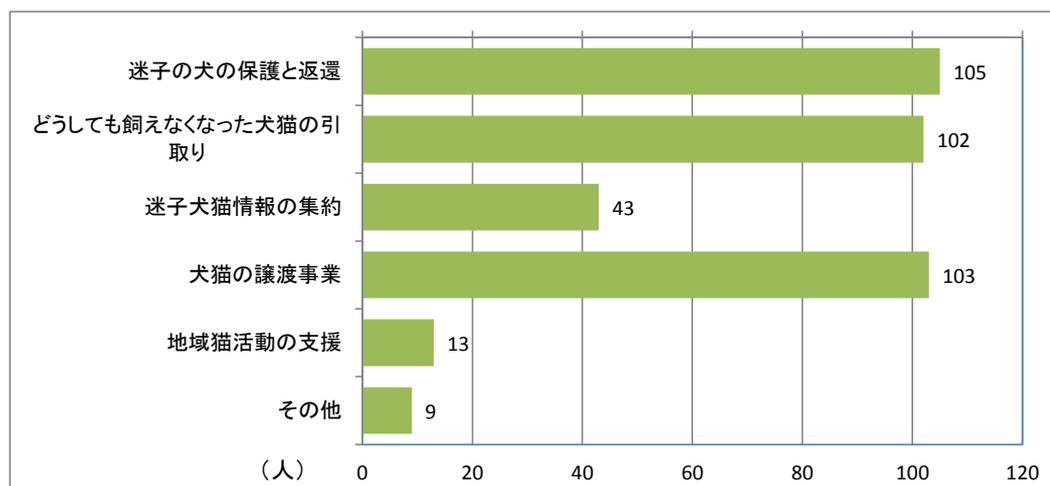


問18 問17で「1. 知っており、行ったことがある」「2. 知っているが、行ったことはない」を選択した方にお聞きします。

動物保護管理センターで実施している下記の事業で、あなたが知っているのはどれですか？

（回答チェックはいくつでも。n=150）

項目	人数（人）	割合（%）
迷子の犬の保護と返還	105	70.0%
どうしても飼えなくなった犬猫の引取り	102	68.0%
迷子犬猫情報の集約	43	28.7%
犬猫の譲渡事業	103	68.7%
地域猫活動の支援	13	8.7%
その他	9	6.0%



問19 その他、県の動物愛護管理施策についてご意見等がありましたらお聞かせください。（抜粋）

- ・飼い犬の散歩による、公有地(歩道など)私有地(軒先や駐車場など)での排尿排便の被害にあっており大変迷惑に思う。
- ・予算が少ない。もっと広報で伝え、動物保護の観点から先進県になるべきだ。譲渡会の回数を増やし情報も多く流すべきだといつも感じています。
- ・以前住んでいた大阪に比べて、野良犬や猫が少ないと思っていた。積極的に活動されている結果だと思う
- ・飼っている人が近所迷惑にならないよう、最低限のマナーを守って欲しい
- ・飼っていないけど、犬猫は好きです。何か支援できたらいいな、とは思っていますが、何もできていません。
- ・猫は野良猫と飼い猫の区別が出来にくく、近所の方が飼われているのではないかと思い、対応を躊躇する。
- ・最近野良犬を見たことがない。殆ど自分の住んでいる所には存在しないと思います。
- ・野良猫と飼い猫の区別が付きにくい。
- ・道路に犬猫の糞が残されている。散歩中の犬の飼い主で糞を持ち帰る人は少ないと感じる。
- ・野良猫の糞尿で困っています。野良猫に餌を与えておられる人も分かっていますが、言えません。よい野良猫対策があれば積極的に情報の発信をしてほしい
- ・野良猫に、餌だけをやる無責任な人には、本当に困ります。
- ・動物愛護の啓蒙活動はもっとしてもよいと思う。ペットショップでの犬・猫の生体販売は動物愛護の精神に反しているので、将来的にはなくすか、形を変えるべきだと思う。
- ・動物の処分を減らすような政策を進めてほしい。
- ・災害時、飼い主からはぐれた犬、猫の救護活動をいつも気になりますがあくまでも、人間優先ですね。
- ・災害時の愛犬との避難はどうしたらよいかあらかじめ教えてほしい
- ・毎日通る歩道（自転車通行可）や遊歩道をリードいっぱい伸ばし犬を散歩させたり、歩道の真ん中を悠然と散歩させていて通行の妨げになり困っています。私は犬が怖いので通り過ぎるのを待つか、自転車のベルを鳴らすか、「すみません」と言いますが「何もしませんから」と言うだけで引き寄せる事もせず携帯したり散歩同士が話し込んだりしてる事がしょっちゅうです。怪我でもさせられたら被害を受けます。又、尿はどの飼い主も皆んな場所関係なくさせ放題、糞の容器を持っていても始末しない飼い主もいて公衆衛生上問題です。夜歩いている時暗くて気が付かず糞を踏んで大変な事になった事があります。マナー違反だけでは済まされません。公道を使うなら人間同様に動物にも絶対住民税等を取るべきです。道端のよもぎを摘んで安心して食べられたり、子供が道端に座れる様な綺麗な公道にして欲しい。
- ・猫の外飼いを罰則・罰金付で禁止するべきだ。近隣トラブルを防ぐためにも、猫の幸福のためにも必要である。誤った思い込みで外飼いをする人を強く指導した方がよい。
- ・野良猫や野良犬が生じた原因は、もとをたどればヒトが飼育放棄したことが原因であることがほとんどのように思われる。安易に、購入する事への制限、即ち購入時に法的な罰則や義務を確認させること、マイクロチップの埋め込みも早期に実施することなどにより、飼育者を明確にすることが基本であろうと思われる。さらに、ふれあい動物園などに対して、開催者はその動物たちが被るストレスを含む被害とも言えるものの自覚があるのか、またもとなる動物が飼育されている飼育形態や実態をしっかりと確認するなど、行政としても面倒ではあるが動物愛護法に則った徹底的管理を行って欲しい。
- ・動物の安楽死は仕方ない事実です、ご苦労様です。
- ・加齢や病気によって犬猫の世話が十分にできなくなることや生まれてきた子どもにアレルギーがあった場合に飼い続けることができなくなる場合があることやそのような時にどのような対応ができるのか飼い始める時に情報が得られるようにする必要があると思います。
- ・一部の飼い主であるが、自分の飼い犬や猫が、他人の家の前で糞をしても全く取ろうしない人や、スマホをしながら散歩し、自分の犬や猫を見ていない人がいる。せめて、糞の処理など飼い主としての最低限のマナーは守るよう、啓発を徹底的にやってほしい。
- ・糞尿を道に落としていてもなんの後始末もしない飼い主の意識を改革してほしい。臭いに悩まされない道。清潔な道を返してほしい。
- ・情報があまり大々的に告知されていないと思います。市の広報、ホームページなどは、読もうとしないと情報がはいつてこないため、テレビやラジオのコマーシャルで流したりポスターで、目にする耳にする告知で動物を保護する環境を整えてほしいと思います
- ・室外犬として飼いたったので、雑種が良いと思い、動物保護管理センターで犬を譲渡していただきました。とても賢く、人好きでまた、健康で近所の人にも好かれました。この犬と散歩することで、顔見知りが増えたり、小さなお子さんやその親ともお話しする機会が増えたりしました。一緒に豊かな時を刻むことができとても感謝しております。
- ・このアンケートで知り、犬や猫にも最後の助け屋があることに安心しました